

「夢ワカメワークショップ」の実施報告

夢ワカメワークショップは、海藻が海の栄養塩を利用して生育することから、海藻育成を通じて富栄養化した海域の環境を浄化し、同時に生物多様性の保全やCO₂の固定化をしようとするものです。

令和3年11月27日にワカメの種付けを実施し、2か月半後の令和4年2月11日にそのワカメを収穫しました。

例年は、ワカメの種付け前に参加者を募集し、種糸の取り付け、プラスチックバンドによる名札の取り付けなどを参加者全員で行っていたところ、コロナ禍の下、取り付けはスタッフのみで行い、収穫時は、参加者に時間を指定して受け取りに来てもらう方式としました。

ワカメは、海水温上昇の影響から当初生長が遅かったものの、年末から年始にかけて水温が急激に下がり、順調に生長したため、昨年より多い収穫となりました。(1,260kg)

このワカメが海水中の窒素・リンを吸収し、それを収穫することで、海水の富栄養化の防止に繋がることが知られています。

当日の活動内容：

当みなとサポートから、17人のスタッフが参加しました。

当日は、前日の雪模様とは違って変わり好天に恵まれ、密を避けて決められた時間に、子供とその家族がワカメを取りに来ました。海から引き上げた大きく育ったワカメを見て、子供たちも大変喜んでいました。

ワカメの収穫



ワカメの収穫



ワカメの受け取り

